

水木しげる氏

表紙絵

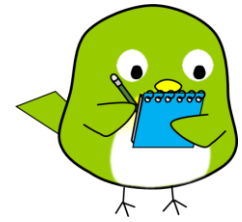
＝わしらは寝ずの番ちゃ！＝

表紙絵：水木しげる

・ 特集：ICタグシステム満足度調査結果	2～3
・ 中央図書館のおはなし会	4
・ 「夏休みにすすめる本2025」発行	5
・ 市民のおすすめ本	6
・ イベントスケジュール	7
・ 郷土の歴史と伝承	8

※音声版、マルチメディアDAISY版もあります。ご希望の方は図書館へお問合せください。

I C タグシステム 満足度調査結果



図書館では、今年2月に導入したI C タグシステムについて、満足度調査を実施しました。

1 調査概要

(1) 対象

図書館 I C タグシステムを用いた各種サービス（セルフ貸出機、自動返却機、予約本受取コーナー）の利用者

(2) 調査方法

- ・インターネット回答フォーム
- ・紙の調査票（各館で配布・回収）

(3) 調査項目

各館導入サービスへの満足度及び自由記入欄

(4) 調査期間

令和7年3月1日（土）から同月23日（日）まで

(5) 回答総数

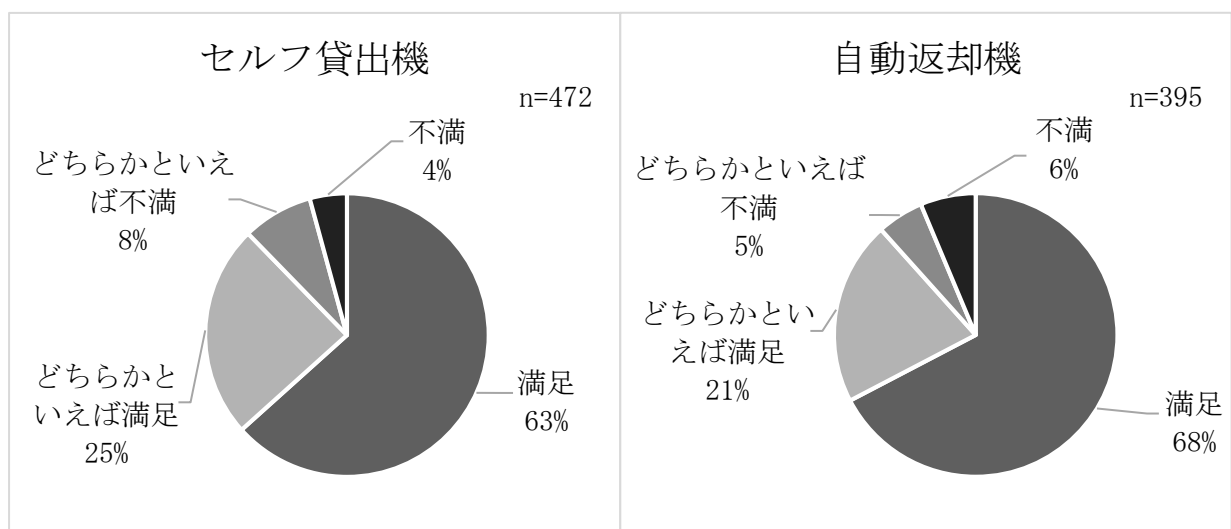
480 件

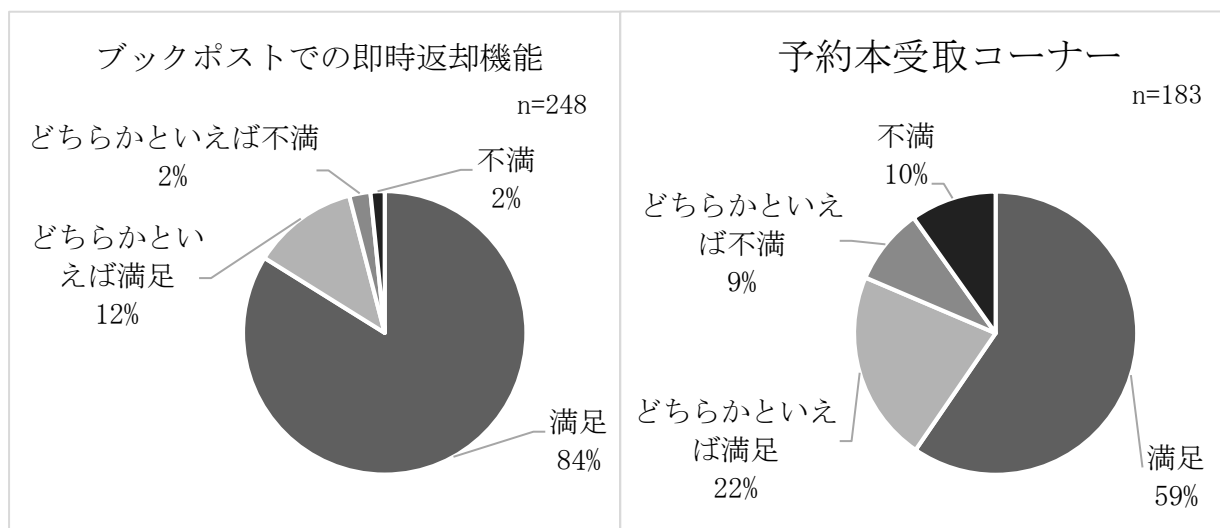
2 調査結果

各結果とも、満足、どちらかといえば満足を選択した利用者が 80 パーセントを超えており、概ね好意的に受け止められていることを示す結果となりました。

(1) 各種満足度

n=回答者数





(2) 主なご意見（原文のまま掲載しています。）

ア セルフ貸出機・自動返却機・ブックポストでの即時返却機能

- ・セルフ貸出機が意外と便利で使いやすかった。
- ・返却機は一冊ずつ入れるのがちょっと面倒くさいです。
- ・セルフ貸出機の読み取りの為の本のおき方をもう少し説明があるとわかりやすい。

イ 予約本受取コーナー

- ・わざわざ4階まで行かなくても、予約本受け取りできるのはとても便利
- ・予約本受け取りコーナーに、スーパーによくあるサッカ台の設置数を増やしてほしい。貸与した本をまとめるスペースが少なく、多くの場合順番待ちをしている。
- ・予約本受け取りコーナーとても便利です。また、ネットで予約してすぐに準備いただけるのも大変ありがたいです。ありがとうございます。

ウ その他

- ・貸出、返却どちらも手早く出来、すごく便利になりました。
- ・お年寄りの人へのフォローなど、導入直後もきちんと続けてほしい
- ・とても便利で満足していますが、図書館の職員の方とちょっとした話をする機会が減るのかな？と少しさびしい気もします。
- ・4才の子どもが自分でもできると喜んでいました。

(3) 今後に向けて

利用者の方から様々なご意見を頂いており、運用の中で、できるところから改善に取り組んで参ります。



中央図書館予約本受取コーナー



自動返却機

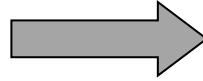
中央図書館のおはなし会



「3歳～小学生のおはなし会」の曜日と時間を変更

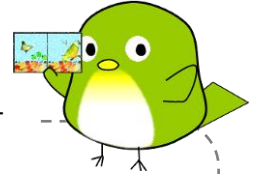


変更前
毎週水曜日 15 時 00 分から



変更後
第1・第3・第5水曜日 15 時 00 分から 第2・第4土曜日 10 時 30 分から

1 中央図書館のおはなし会とは？ ★



(1) 0～2歳と保護者向け

(ちいちゃいちいちゃいおはなし会)

日時：第1・3水曜日 10時半～11時

内容：絵本や手あそび、わらべうたなど

(2) 3歳～小学生向け

日時：上記のとおり

内容：絵本の読み聞かせ・ストーリーテリング（昔話などを覚えて本を見ずに語ること）・手あそびなど

2 中央図書館のおはなし会イベント ★

夏

こわいおはなし会



こわいおはなしのみのおはなし会です。令和6年度は、「ちょっとこわい」と「すごくこわい」の2回に分けて行いました。

毎年、こわいおはなしを楽しみに、たくさんの子どもが集まります。

冬

スペシャルおはなし会

図書館のおはなし室を飛び出し、たづくり8階の映像シアターで、16mmフィルムの上映や、クリスマスにちなんだ手遊び、エプロンシアターなどを楽しめます。



お話の時間



大人も参加可

ストーリーテリングのみのおはなし会です。絵本の読み聞かせとは違い、聞こえてくる言葉から、それぞれの子どもが想像してお話を楽しみます。語り手は、図書館員です。



おはなし会は、全館で行っています。
お知らせは、図書館ホームページやXでご確認ください。
みなさんのご参加をお待ちしています。



「夏休みにすすめる本 2025」発行

小学生の夏休みの読書におすすめの本を紹介したリストです。毎年、図書館員と市立小学校の先生が、協力して作成しています。

発行：7月7日（月）

配布：市内各図書館（市立小学校児童には学校をとおして配付）

リストは、小学校「1・2年生」
「3・4年生」「5・6年生」向けの
3種類あります。



／ 学年ごとにおすすめの本がわかって便利です ／



例えば、このような本を紹介しています

●1・2年生●

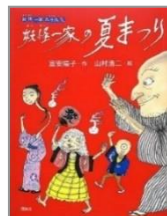


『なつやすみ』

麻生知子作 福音館書店

夏休み、ある家族の家に、いとこ一家が泊まりにきます。上から眺めるように描かれた絵を、親子で楽しめる1冊です。

●3・4年生●



『妖怪一家の夏まつり』

富安陽子作 理論社

人気シリーズ「妖怪一家九十九さん」の中の1冊です。妖怪が好きな子に特におすすめです。

●5・6年生●



『夏のサンタクロースーフィンランドのお話集ー』

スヴァン作 岩波書店

妖精や魔物が登場するお話集です。ファンタジーや童話が好きな子にぴったりです。



子ども室では、リストに載っている本の展示も行います。

リストの本を探す時は、展示の棚を見てみてください。



去年の展示の様子
（中央図書館）



市民のおすすめ本

Vol.1

図書館ボランティアのおすすめ

図書館では、書架の整理や本の宅配などの活動を通して、様々なボランティアの方が活躍されています。ボランティア同士の意見交換や交流の場である「ボランティアミーティング」で、ブックトーク（好きな本を持ち寄って紹介し合う）を行いました（令和7年3月実施）。紹介いただいた本の一部です。

タイトル	著者	出版社	分類番号
ケインとアベル	ジェフリー・アーチャー	新潮社	933 ア
だるまちゃんとてんぐちゃん	加古里子	福音館書店	E カ
からすのパンやさん	かこさとし	偕成社	E カ
おしゅりん	藤岡陽子	ポプラ社	913.6 フ
朝星夜星	朝井まかて	PHP研究所	913.6 ア
ファビアンーあるモラリストの物語ー	エーリヒ・ケストナー	みすず書房	943 ケ
デトロイト美術館の奇跡	原田マハ	新潮社	913.6 ハ
うんこ文学ー漏らす悲しみを知っている人のための17の物語ー	頭木弘樹	筑摩書房	908 カ
ゴキブリ・マイウェイーこの生物に秘められし謎を追うー	大崎遥花	山と溪谷社	486.4 オ
銀二貫	高田郁	幻冬舎	913.6 タ
おいしいごはんが食べられますように	高瀬隼子	講談社	913.6 タ
怪物に出会った日ー井上尚弥と闘うということー	森合正範	講談社	788.3 イ
安部公房ー消しゴムで書くー	鳥羽耕史	ミネルヴァ書房	910.2 ア

小展示「ボランティアのおすすめ本」

ボランティアミーティングで紹介された本に加えて、日頃活動していただいているボランティアのみなさんからおすすめの本を募集して展示しました。

期間：令和7年4月23日（水）～5月25日（日）

場所：中央図書館5階



イベントスケジュール

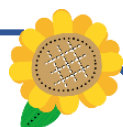
7月から9月までの図書館の行事予定です。詳しくは、図書館ホームページ
または館内のポスター、市報等をご確認ください。



7月
1日(火)～4日(金) 蔵書点検のため休館 国領・若葉分館
5日(土) 7月の読書会『グスコーブドリの伝記』宮沢賢治著 たづくり 6階 601 会議室
7日(月) 「夏休みにすすめる本 2025」 発行
12日(土) 夏休み法務ミニセミナー「ペットボトルのラベルのひみつ」 たづくり 10階 1001 学習室
12日(土) どうぶのおはなし会 富士見分館
14日(月) 「ぶちねこ便」発行
21日(月) 祝日おはなし会 調和分館
24日(木) 図書館協議会
26日(土) どうぶのおはなし会 神代分館

7月
27日(日) 夏のスペシャルおはなし会 若葉分館
30日(水)～10月26日(日) 市制 70 周年記念イベント「じろのおめかしプロジェクト」 全館
8月
7日(木) 平和祈念公開緑陰読書会 『桜島』梅崎春生著 たづくり 6階 601 会議室
9日(土) 平和祈念文芸講演会『平和と俳句を考えるー沈黙を拒む俳句』 角谷昌子氏 たづくり 12階大会議場
10日(日) 科学あそびのおはなし会 神代分館
20日(水) 夏のスペシャルおはなし会 16mm フィルム上映 調和分館
27日(水) こわいおはなし会 中央図書館

9月
10日(水) 9月の読書会 (タイトル未定) たづくり 6階 601 会議室
16日(火)～19日(金) 文化会館たづくり総合保守点検休館 中央図書館
20日(土) YA 講演会 汐見夏衛氏 たづくり 8階映像シアター
25日(木) 図書館だより秋号発行

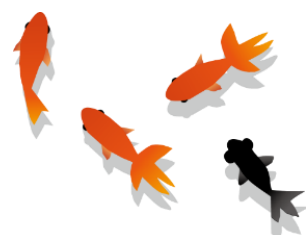


展示のお知らせ

調布市制 70 周年

9月 20 日(土)
～11 月 23 日(日)

中央図書館 4 階



農家の行事（夏から秋へ）

関口 宣明のぶあき

調布の農家にとって、旧暦の7、8月に行われる七夕やお盆などの行事は、一年の中でも特別な意味合いをもっていました。この季節には、主食の米や雑穀の収穫を間近にひかえ、病虫害や風害による不作がもっとも心配されました。ではこれらの行事はどのようにして行われたのでしょうか。

1. 盆の準備としての七夕

七夕は尊い先祖祭りであるお盆を前に、くらしを妨げる悪しきものを清める意味をもつ大切な行事でした。調布では、短冊に書いた墨の文字が雨でにじめば、その年は病気にならなかったり、流行ったりしないといわれました。雨が歓迎されたのは、特定の日に降る雨には、悪いものを流し去り、身を清めるミソギの意味があったからです。竹や笹には神霊が乗り移りやすいとされ、短冊や飾りのついた竹に、身についたケガレや神に届けたい願いごとなど、さまざまなものを託して川に流しました。深大寺地区では、短冊をつけた竹を畑にさして、穀物や野菜などを荒らす雀よけにもしました。

2. 盆棚（オタナ）づくり

お盆の初日には、農家では「オタナ」といって、先祖の霊を迎えてまつる祭壇を作りました。仏壇から位牌を移し、四隅に竹を立て、チガヤといって神聖とされる植物でなった縄を張ります。そして、そこに未熟な青稲をはじめ、雑穀の穂、柿などをつるしました。



「オタナ」には、先祖の霊とともに、供養しないと災いをもたらすかもしれない無縁仏も祀られています。そこでお盆の期間中、これらの諸霊に、白米のご飯、マンジュウ、うどん、ダンゴなどを供えてもてなし、田畑の作物などを見てもらうことで、収穫の無事を祈ったのです。

3. 入間地区の迎え盆

入間地区の迎え火では、かつて長さ1メートルほどの麦ワラのタイマツを燃して墓地に行き、家にもどる時には、手を背中にまわして先祖を負うようにしてきました。この風習は、調布周辺では、多摩川沿いの府中市から大田区にかけてみられ、川向うでも、下流沿いの川崎の米どころで見られます。

また利根川中流域の稲作地帯では、「盆の野まわり」といって、家の主人が人を負ぶうかっこうをして田んぼの稲の育ちぐあいを先祖に見せて歩くところがあります。そこでこのような風習には、ご先祖様に田畑を見てもらい、その年の豊作をお願いする意味があると考えられます。

4. お月見

今は季節の風物詩として楽しまれている十五夜や十三夜のお月見も、翌年の麦の出来ぐあいを占ったり、月にサトイモなどのお供えをして、収穫の無事を感謝したりする行事でした。この行事も、七夕やお盆と同様に、豊作へのせつなる願いをこめて行われてきたものです。

七夕の短冊流しや、現代に伝わるお盆、お月見といった調布の行事は、農業を生活の基礎にしたこの土地の人々が、ご先祖様や自然とどう向き合ってきたのかを私たちに教えてくれます。

※参考文献：『調布市史 民俗編』調布市

「お盆のはなし」調布市郷土博物館

刊行物番号

2025-062

図書館だより 第275号

令和 7年6月25日発行 [市内印刷]

発行 調布市立図書館

〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1

TEL 042-441-6181

<https://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/>